

家族アプローチ



Summary

たくさんの背景からわかってきた、私達世代の家族の関係。世の中の傾向として、家族を大切にする結婚式は増えているが、現状ではまだまだ家族と言いつつもスポットライトを浴びているのは両親だけにとどまっている。私達世代が大切にしたいのは本当に両親だけなのか？大切にしているから結婚式でどうしたら良いのか？結婚式の中で感謝を伝えることが一番良いのか？様々な疑問と調査から生まれた「家族式」。従来の結婚式とはちょっと違う、この5年後の結婚式を行うことで、私達は本当に家族に感謝の気持ちを伝えたい。

Flow

1. 背景

- ・東日本大震災の影響
- ・職近・学近を選択する若者の増加
- ・メールやSNSの普及
- ・親と別居「単身赴任」の増加

結婚式 × 家族の現状

アンケート

2. アイデア

家族式

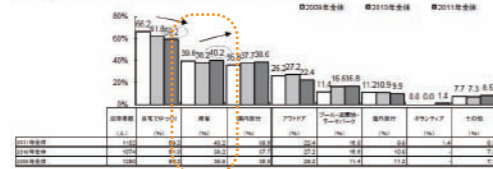
アンケート

Background- 家族の現状

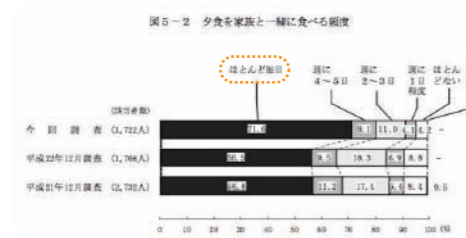
東日本大震災による影響

2011年3月11日に発生した東日本大震災。それがきっかけとなり、私達は身近な人間関係を大切にするようになった。震災後には、食事を家族一緒にする人や、夏休みに帰省する人が増加していることから、**ただ意識をするだけでなく、しっかり行動に表れていることがわかる。**

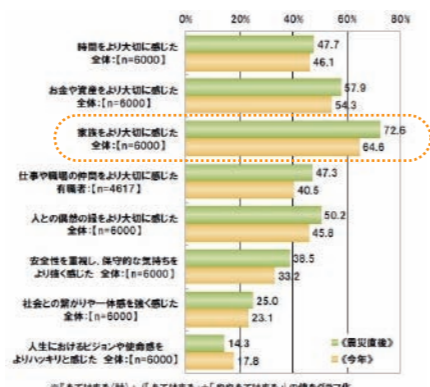
Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください(複数回答)



明治安田生命調査
http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/release/pdf/20120326_1.pdf



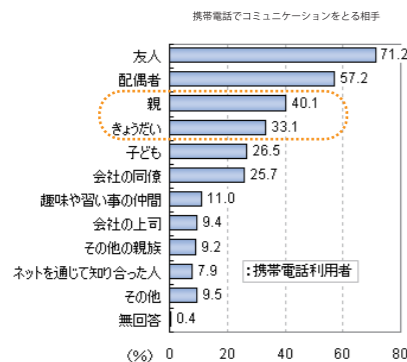
内閣府 調査結果より
http://resmom.jp/article/2012/05/21/7793.html



ライフネット生命保険調査
http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/release/pdf/20120326_1.pdf

メールやSNSの普及

インターネットが普及したことにより、私達はメールやSNSのような新しい連絡手段を手に入れた。家族間においても携帯メールで連絡を取ったり、家族でSNSを利用して思い出を共有することによって、**離れて暮らす家族とも容易にコミュニケーションをとることが可能になった。**



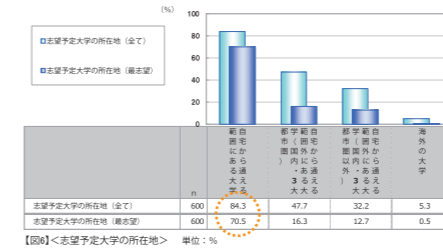
マイボイスコム 2009年調査
http://www.myvoice.co.jp/biz/surveys/13312/index.html



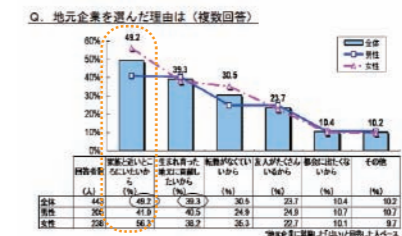
現代ビジネス『家族向けソーシャルメディアサイト「wellnote」が面白い3つのポイント』
http://gendai.ismedia.jp/articles/-/20746
内閣府 H19 http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h19/10_pdf/01_honpen/pdf/07sh_0103_1.pdf

職近・学近を選択する若者の増加

近年の新卒社員は地元での就職志向が高まっている。2012年の新卒社員へのアンケートでは、就職先を選ぶ理由の3位に「勤務地」がランクインし、地元企業を選んだ理由として、『家族と近いところから』(49.2%)が1位に。同様に、大学も自宅から通える学校を選ぶ人が84.3%という結果が出ている。このことから、**家族を大切に、家族と過ごす時間が増加していることが予想される。**



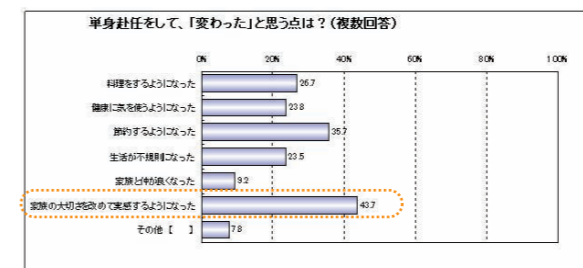
ADK教育プロジェクト「高校生の将来意識」レポート
http://www.adk.jp/html/news/20120803_2.pdf



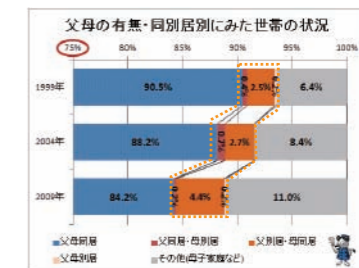
明治安田生命 新入社員アンケート調査
http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/release/pdf/20120326_1.pdf

親と別居「単身赴任」の増加

私達が成長するにつれて増加している、親の「単身赴任」。単身赴任する側である親を対象に調査したアンケートからは、**単身赴任によって「家族の大切さ」を実感する結果が出ている。** 私達世代は特に、単身赴任をする親が増加していることで「親も私達を大切に思っていてくれる世代」と言えるのではないだろうか。



クラシエ調査 http://www.kracie.co.jp/release/10028484_3833.html



厚生労働省 http://www.garbagenews.net/archives/1876660.html

Background- 結婚式 × 家族

■「アットハートウェディング」

近年では、「主役である新郎新婦のための披露の場」という考えから、「ゲストに感謝を伝えるための儀式」として結婚式・披露宴を挙げるカップルが増加している。

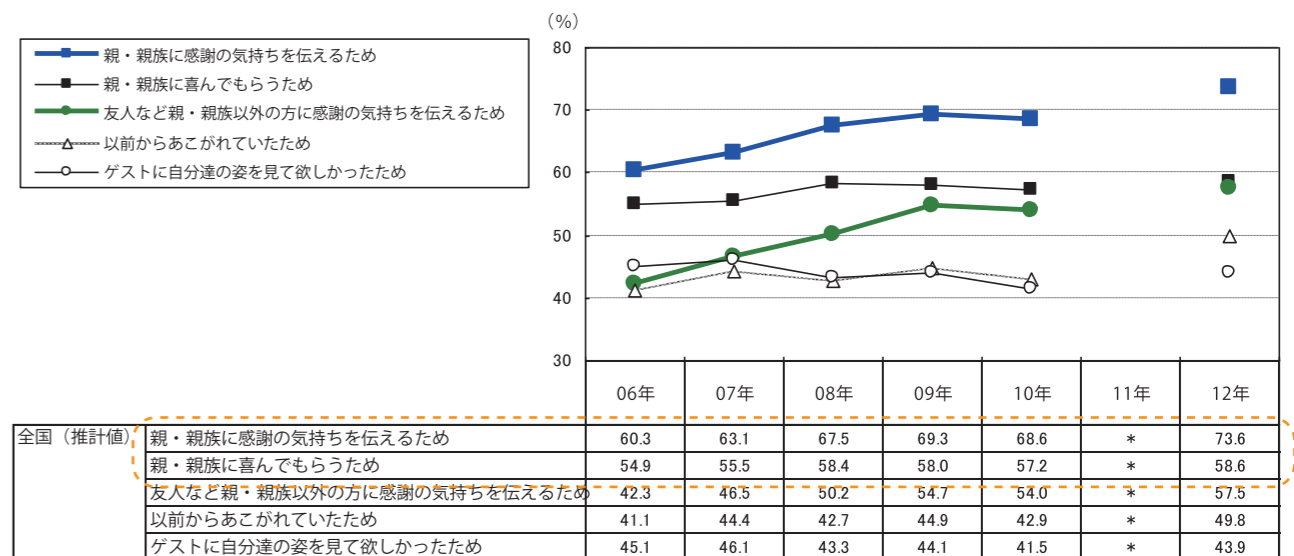
その中でも特に「家族」に対して特別な思いを抱いているカップルが多く、家族も一緒に参加する形式の結婚式が増えていることは事実である。

■「感謝式」

海外挙式をするカップルが両親へ感謝の気持ちを込めてサプライズでプレゼントするサービスとして『感謝式』がある。内容は家族内での誓いの言葉やバラを贈呈など。ワタベウェディング株式会社が、結婚記念の周年式を祝う文化と、新郎新婦の両親との家族の絆を意識した挙式スタイルへ注目が集まっているとして、株式会社ジャルパックと共同で2008年に販売開始をした。

参考：http://www.watabe-wedding.co.jp/corporate/press/info/detail.html?press_id=147

■披露宴・披露パーティをあげた理由の推移 【上位5項目】披露宴・披露パーティ実施者複数回答



ゼクシィ 結婚トレンド調査 2012

http://bridal-souken.net/data/trend2012/XY_MT12_release_00zenkoku.pdf

現在の結婚式における家族の関わり

- ・披露宴での家族の席次：新郎新婦から遠い末席
- ・感謝の手紙なども両親に向けたもの
- ・最後のお見送り 両親は参加するが、きょうだいは取り残される
- ・挙式のリハーサルでも両親のみが参加
- ・ヴァージンロードは父親の役目、ベールダウンは母親の役目
- ・ケーキの仕上げを両親にお願い
- ・ブライズメイド・アッシャー 双方の人数合わせの問題
- ・忙しくて家族で結婚式前にゆっくりできる時間がない

参考：All About Japan ～身内を喜ばせるサプライズ演出～ <http://allabout.co.jp/gm/gc/225533/>



5年後



結婚式における家族の関わり方は変化してきているが、ほとんど両親のみ
現状では、親以外の家族はきちんとお別れできていないのではないかと

両親だけでなく「家族」に対して
お別れをきちんとする人が増加

Background

■ 私達世代へアンケート

前頁で説明したような現在の結婚式における家族の現状について、私達世代がどのように思っているかをアンケートにより調査した。

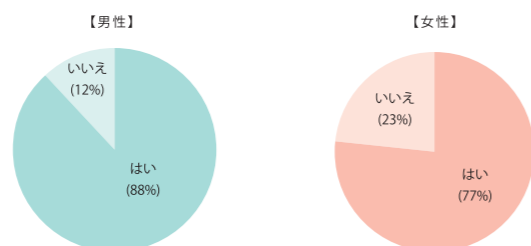
【集計対象】 19歳～24歳の男女 30名 男性17名 女性13名

■ Q1. あなたが結婚する時、結婚式で両親に感謝の気持ちを伝えたいですか。



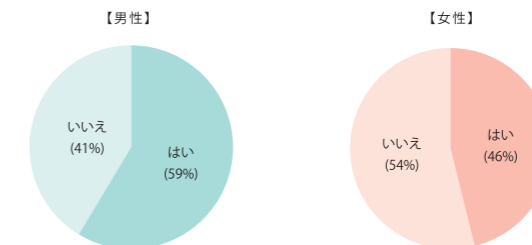
この結果から、ほとんどの人が感謝を伝えたいと考えていることがはっきりした。

■ Q2. あなたが結婚する時、結婚式で両親以外の家族（兄弟姉妹や祖父母）にも感謝の気持ちを伝えたいですか。



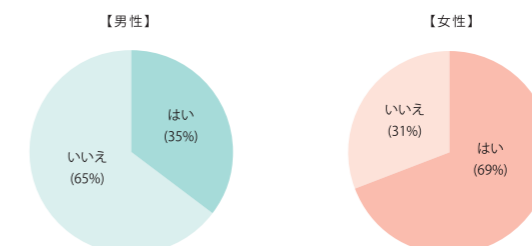
「両親に感謝の気持ちを伝えたい」というニーズよりは小さいものの、両親だけではなく、その他の家族に関する感謝を伝えたいというニーズがあることがわかった。

■ Q3. 家族に感謝を伝える場合、招待客の前でも感謝の気持ちを十分に伝えられると思いますか。



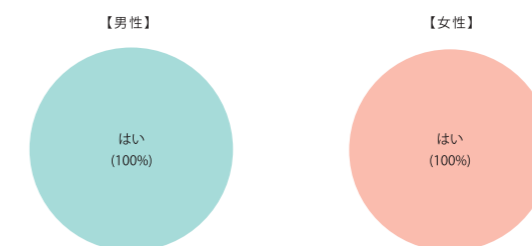
現在の結婚式でコンテンツ化されている「両親への手紙」のように、招待客の前でも感謝の気持ちを伝えられると考える人は約半数であった。

■ Q4. あなたが結婚する時、両親や兄弟姉妹に、感謝とは別に謝っておきたいことはありますか。



「はい」と答えたのは、男性は約3分の1、女性は3分の2程度であり、男性に比べて、女性の方が謝りたいことがあることがわかった。

■ Q5. あなたが結婚する時、結婚式において両家の人々が良い関わりあいを持ってほしいと思いますか。



結婚式において両家が良い関係であってほしいと願うのは、新郎新婦にとって非常に嬉しいことである。ここでは全員が「はい」と答えた。



これらの結果より、現在行われている結婚式ではカバーしきれない家族への気持ちがあり、特に「感謝の気持ちを伝える」ことが招待客の前では十分にできていないと思われる結果となった。

Idea：家族式



Concept「家族を大切にする」

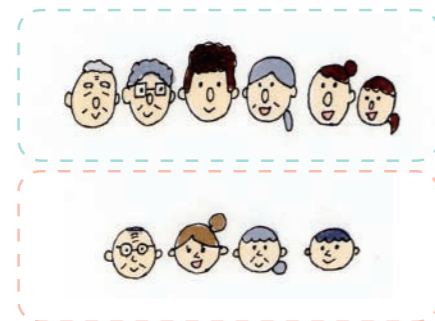
近年の傾向から見えてきたこと。「私達が大切にしている家族に対して、結婚式を前に、もっとしっかりと感謝を伝えたい」。そんな希望を叶えるプランです。

家族式は結婚することで変化してしまう家族の関係を、様々なコンテンツを通して、1つの儀式としてしっかり確認します。

家族式、挙式、披露宴。この一連の流れには大きな意味があります。挙式を1つの節目と考えて、挙式前は今まで一緒に過ごしてきた家族と、挙式後には新しく家族になった人々と楽しめるような時間を提供します。

家族式について

■ 家族式



家族式は、両家一緒に行うのではなく、新郎、新婦別々の家族のみで行います。ここで、挙式を通して変化する「家族」に対して、しっかりお別れをして、感謝の気持ちを伝えます。

■ 挙式



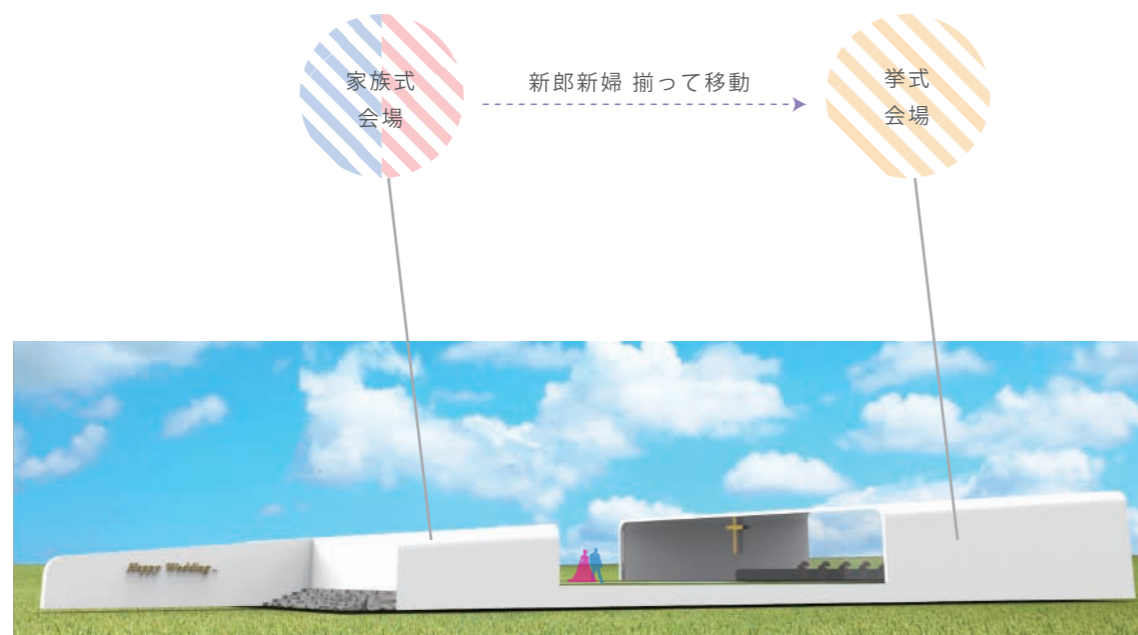
挙式会場は家族式の会場とつながっており、家族式でこれまでの家族にきちんとお別れを行った後、新しい家族である新郎新婦の2人で入場してきます。

■ 披露宴



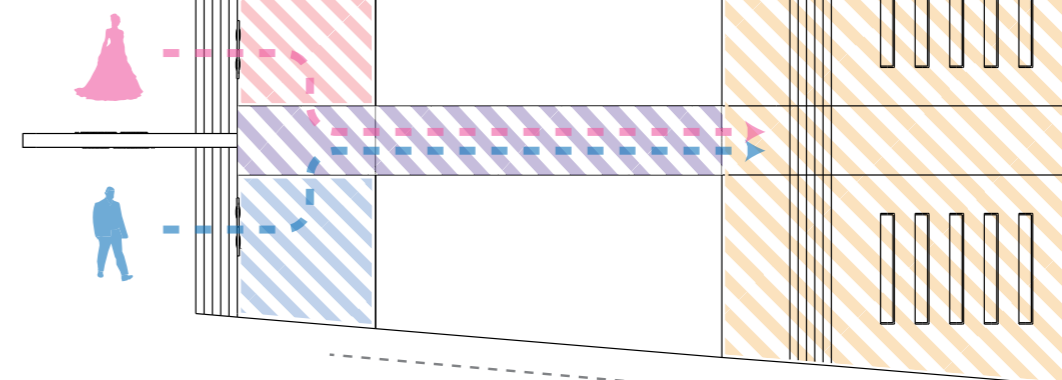
披露宴では、これまで行なっていた新郎新婦から、家族の個人個人に向けた家族コンテンツ（手紙など）ではなく、来客側も一緒に楽しめるようなコンテンツを行います。

会場に関して



未広がりイメージ

[上面図]



[側面図]



家族式について

■ 家族式



入場・開会宣言



名前の由来



水流しの儀



花嫁の手紙・花婿の手紙



家族の鐘



家族写真



ベールダウン/ブートニア



挙式会場へ



■ 家族式の流れ



■ 入場・開会宣言



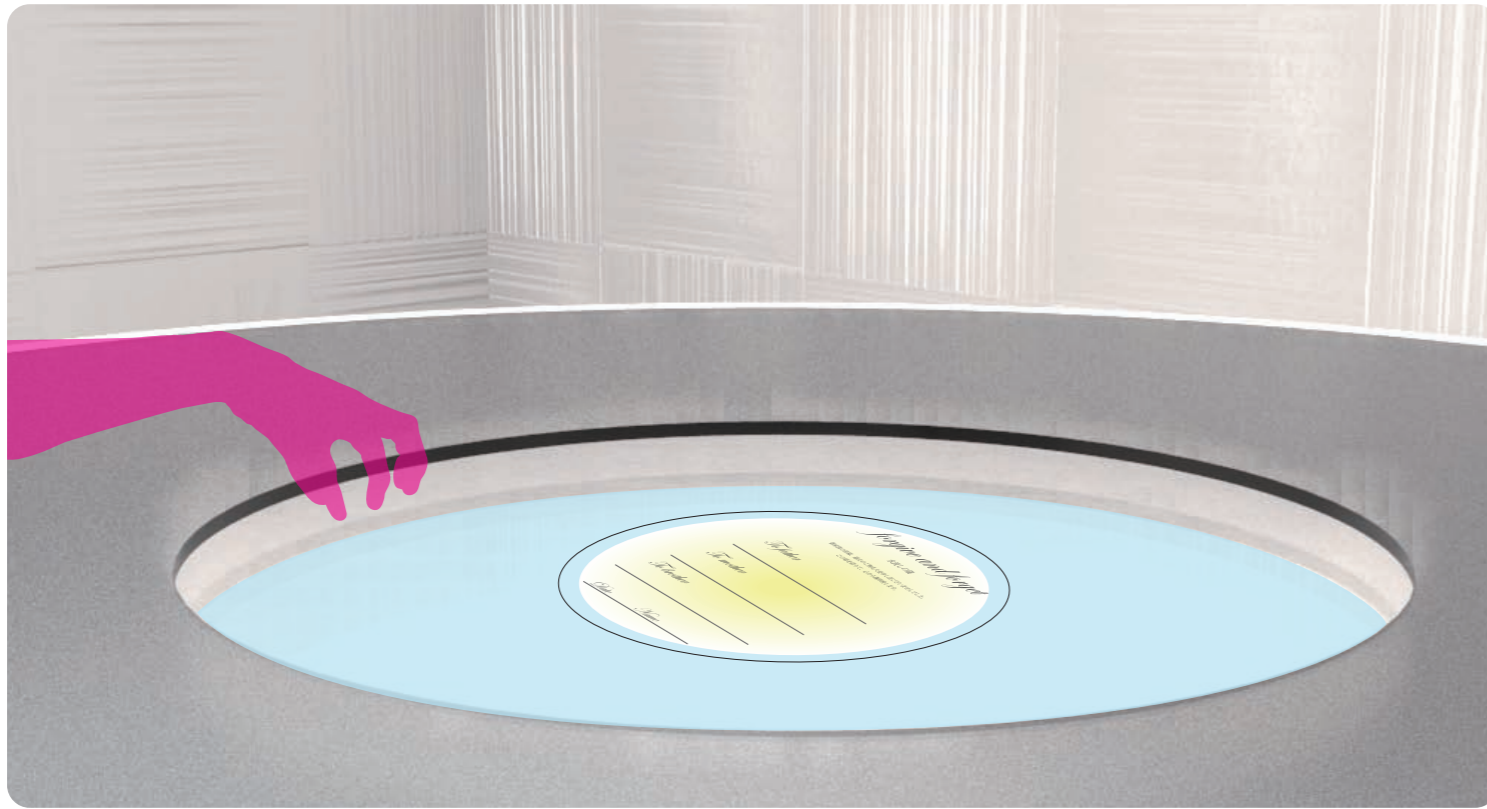
家族が横に並び、全員で手をつないで入場します。
司会進行役が待つテーブルまで移動します。



■ 「名前」の由来



自分自身の原点でもある、両親が最初にくれた贈り物は「名前」です。
その大切な大切な名前の由来を、再びここで確認します。
由来を話すのは父親。改めて自分の名前が愛おしくなるはずです。



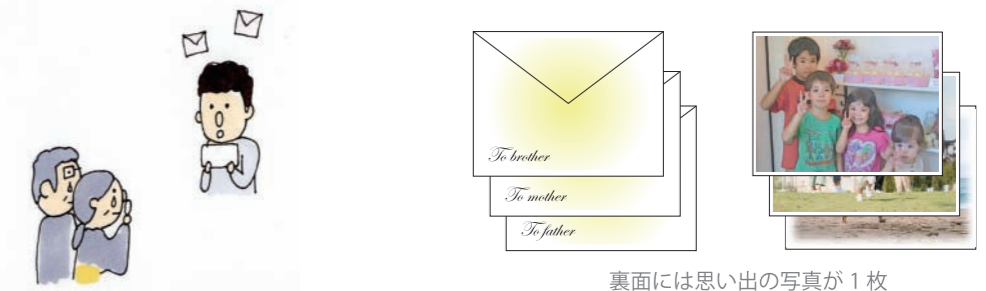
■ 水流しの儀



披露宴で読まれる手紙の内容のほとんどは、感謝です。もちろん、感謝を伝えることも大切ですが、謝りたかったことも、この機会に伝えてみませんか？
水流しの儀では、水に溶ける紙に書いた「謝りたいこと」を読み上げた後、テーブルの中央にある池に浮かべ、過去の謝罪を水に流します。

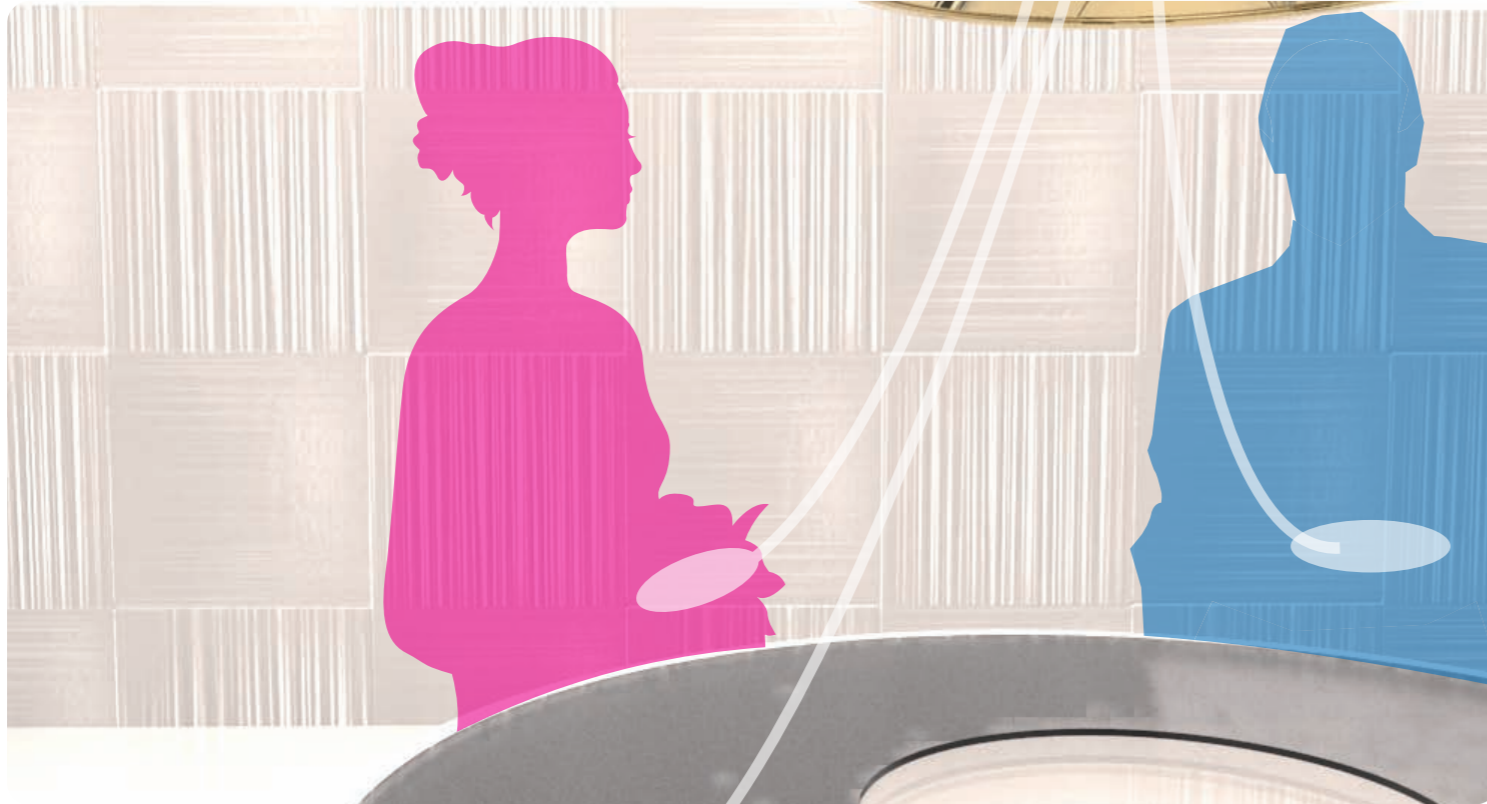


■ 花嫁の手紙・花婿の手紙



現在の披露宴で行われる両親への手紙の多くは、花嫁から両親に対して読み上げています。

家族式では、花嫁だけでなく花婿も、そして、両親だけでなくきょうだいや祖父母にも、感謝の気持ちを伝えます。



■ 家族の鐘



家族式の締めは、家族全員で鳴らす「家族の鐘」。この鐘の響きは、挙式会場へも聞こえるようになっており、この鐘を鳴らすことによって、「そろそろ集まってください」というメッセージにもなっています。



■ 家族写真



今までの結婚式では、両家が入った家族写真を撮ることがあっても、それまでの家族のみで写真を撮ることはありませんでした。家族式では、最後の家族の証として、家族写真を撮影します。



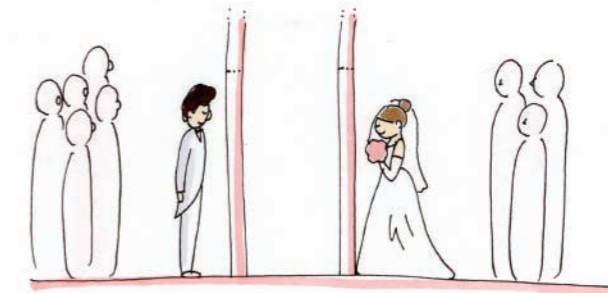
■ ベールダウン/ブートニア



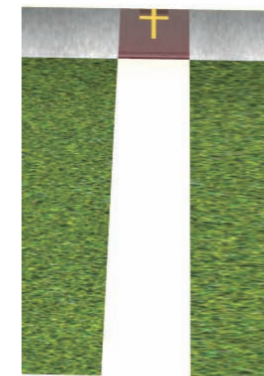
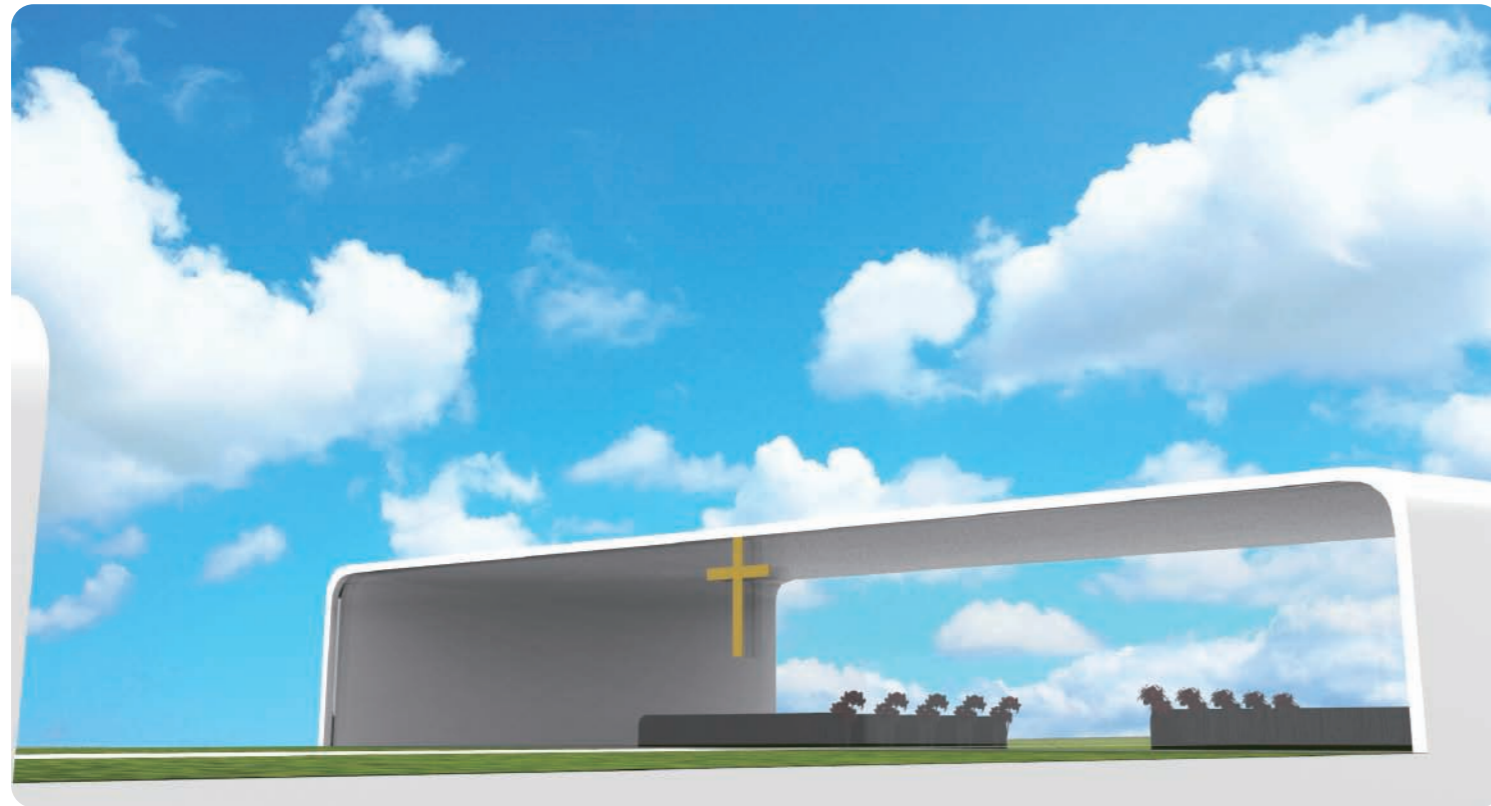
花嫁の場合にはベールダウンを、花婿の場合にはブートニアを、最後に家族が見守る中で、母親が行います。



■ お見送り

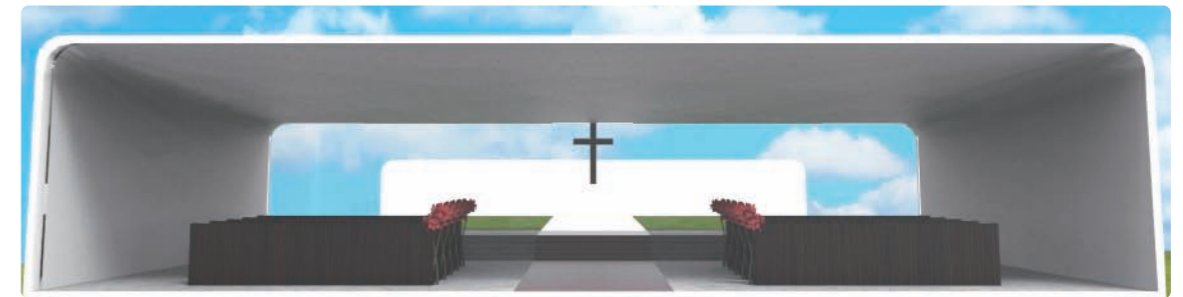


家族に見送られて、2人は家族式を行う空間の中央部で出会います。ここから、2人で歩いてゆく人生が始まります。



■ 挙式

挙式に関しては、従来の入場形態である「父親とのバージンロード」を廃止し、新郎新婦2人が揃って招待客の前方から入場する形態で行います。新しい家族となる2人が招待客の前から現れることで、招待客も2人の門出をしっかりと感じる事ができるのではないのでしょうか。



■ 披露宴

■ 入場：両家の家族も一緒に入場



■ お楽しみコンテンツ：

2人の子供の顔予想メーカー



みんなでワイワイ 赤ちゃんの顔予想

ちょっと気が早いかもしれませんが、結婚してから次に考えるのが子供。60%以上の方が結婚後「すぐに欲しい」「3年以内に欲しい」と考えているという結果も出ています。

(参考：「ozmall」<http://www.ozmall.co.jp/wedding/honne/vol28/>)

新しく増える「家族」である赤ちゃんの顔を、モンタージュして予想するツールもすでに実用化されています。

(<http://www.makemebabies.com/>)

両家の家族の顔とも比べながら、「旦那さんに似たらこうなるのね」「おじいちゃん似だね」と、招待客も含めみんなで楽しめるコンテンツです。

私達は

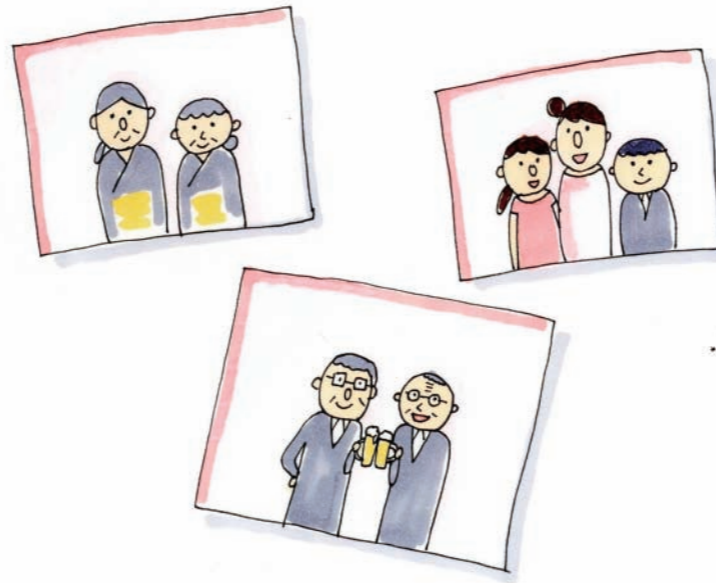
家族式：これまでの家族

挙式：新郎新婦

披露宴：新郎新婦がつないだ、両家が1つになった新しい家族

がそれぞれにおける「家族」であると考え、披露宴では両家と一緒に、そして招待客も一緒になって楽しめる場にしたいと考えました。

■ 両家の「父親同士」「母親同士」「きょうだい同士」で写真撮影

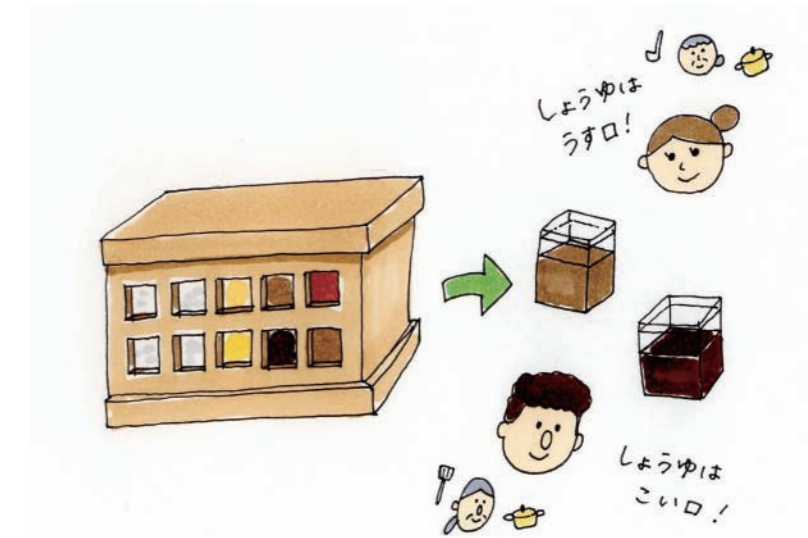


新しい家族を、写真でのこす

新郎新婦にとって嬉しいのは、両家の家族が良い関係であること。結婚式において両家の家族が会話しているのを見ただけで嬉しかった、という意見もあります。

披露宴では、新しく家族になった父親同士・母親同士・きょうだい同士で写真撮影をして、披露宴のラストに流れるエンドロールでその写真を流すことにより、新郎新婦とその家族はもちろん、招待客も新しい家族を見て和やかな気持ちになれるのではないのでしょうか。

■ 引き出物：両家の味セット



今までの味とこれからの味

引き出物の中にも、家族をそっと忍ばせます。

両家の味セットは、それぞれの課程の味である、両家がいつも使っている「さしすせそ（砂糖・塩・酢・醤油・味噌）」が2種類ずつ入っています。

新婦側が育ってきた味、新郎側が育ってきた味、それぞれの味を楽しむことで、今までの家族の味を楽しむだけでなく、これから2人がどんな味をつくっていくのか、「新しい家族の味」を感じることができます。

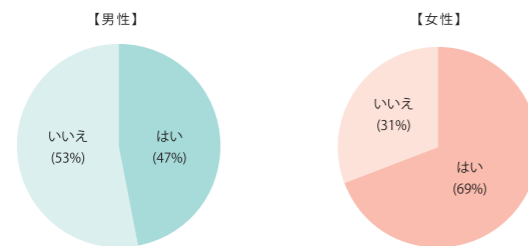
アンケート調査

■ 家族式のニーズ

家族式に関するニーズを確かめるため、家族式の流れ・内容を説明した上でアンケートに回答してもらった。

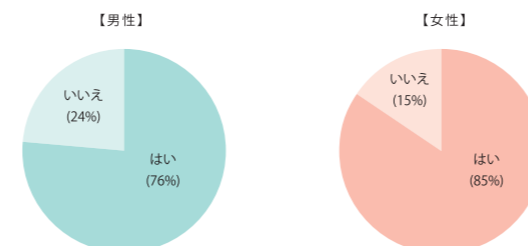
【集計対象】 19歳～24歳の男女 30名 男性17名 女性13名

■ Q1. あなたは家族式を行いたいですか。



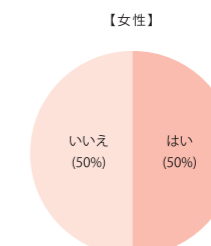
家族式のニーズとしては、男性では約半数、女性では半数以上が行いたいという結果であった。

■ Q2. 家族式で、今までの結婚式以上に家族に感謝の気持ちが伝えられると思いますか。



「家族式を行いたい」割合に比べて、男性・女性共に伝えられると答える人が多かった。このことから、家族式の意味はあると考えられるので、「行いたい」と思わせるポイントが少し不足していることがわかる。

■ Q3. 父親と歩くバージンロードがなくなることに抵抗はありますか。



バージンロードに関しては、「父親の夢ではないか」という意見が多く、バージンロード廃止に対してはまだまだ抵抗があることがわかった。

こんな意見もありました

親族でゆっくり過ごせるのは良いが、神前式との違いがよくわからない。(24歳・男性)
逆に照れくさい。もっとラフな感じがよい。(22歳・女性)
費用がいくらかかるのかな…？(23歳・男性)

公の場(披露宴)では話せないような内容でも、**家族式なら話せるのかも**もしれない。(21歳・男性)
披露宴で手紙を読むのは恥ずかしいというのはあるので、そういう場の提供は良いと思う。(22歳・女性)

はい/父にとったら感動の場面だと思うから(22歳・女性)
はい/父と腕を組み歩く機会は今無いら(22歳・女性)
いいえ/バージンロードにこだわりが無い(22歳・女性)
いいえ/あまり結婚式をしないと思わない(22歳・女性)



課題は残されているものの、
家族式自体のニーズはあると判断